

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2007年11月

コミッティ活動

Equity Derivatives: 担当森田(tmorita@isda.org)

11月27日、Japan Index Dividend Swap General Terms Confirmationの最終前のドラフトがWorking Groupメンバーに回覧され、コメントの募集が行われた(締切は11月30日)。また、Japanese Equity Derivatives Committeeメンバーには、ひな形フォーム作成のため、顧客との取引の際に使用するJapanese Index and Share Optionのテンプレートの提出が要請された。さらに、10月から起草されているAEJ Index & Share Swap MCA(マスターコンファメーションアグリーメント)に、Japan Index & Share Swap取引のテンプレートを加えることに関するアンケートが行われた。

Regulatory: 担当森田(tmorita@isda.org)

11月19日、金融庁とISDAとのミーティングが行われ、ISDAは、クレジットデリバティブ市場のグローバルな発展と"コンファメーション・バックログ"問題の経緯を含むCDS取引に関する現状の問題点についてのプレゼンを行った。

金融商品取引法：金商法に関する議論中の問題について行われた金融庁とのミーティングの議事録がRegulatory Committeeメンバーに回覧された。

Weather, Commodity & Developing Products: 担当森田(tmorita@isda.org)

不動産デリバティブ：不動産証券化協会(ARES)とISDAとのミーティングが行われ、日本の不動産デリバティブ取引発展に向けた市場整備について意見交換を行い、不動産デリバティブについては不動産市場の活性化の一端をになうものとして重要との認識を共有した。

Credit Derivatives: 担当森田(tmorita@isda.org)

ISDAは、クレジットデリバティブに関する国際的な問題を認識している業界団体の代表として、金融財政事情研究会が主催するクレジット市場研究会への参加の招待を受けた。初回ミーティングは11月29日に行われ、サブプライム問題を引き金とした最近の経済危機、それについて日本企業がどのように意識し、何をしなければならぬか、ということについて話し合われた。

コンファレンス

11月27日、UNDERSTANDING THE ISDA MASTER AGREEMENTS CONFERENCEがANAインターコンチネンタルホテル東京にて開催された。議題はISDAマスター契約の2002年版と1992年版の主な相違点、2003年ISDA Credit Derivatives Definitions等。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Property Derivatives Working Group (日本語による会合)	12月6日
Dividend Swap Working Group (英語によるカンファレンスコール)	12月13日